

第4回 SRF 賞 公開シンポジウム・PDのご案内

安全で快適な街づくりに向けて

東日本大震災では、耐震補強済みの建物、新耐震の建物、免震・制震建物にも大きな被害が生じ、倒壊は免れても、所有者の手で取り壊しや大規模修繕を余儀なくされた事例が多数ありました。建築学会東北支部の報告書には、「旧基準 vs 現行基準のようなものの考え方はもう古くなってきている。これからのマンションの耐震化は、非構造部材、設備などの主体構造以外の所にも十分配慮したものでなければならない。もう、マンションの耐震化は新時代に突入していることに気付く必要がある。」と結ばれています。これは、マンションだけでなく、全ての建物・施設に当てはまると言えます。

近い将来、直下型地震、海洋型の巨大地震が必ず発生すると予測されています。時間も、資金も限られた中で、従来の想定とは桁違いの地震に対して、膨大な施設や建物の安全性を確保するには、専門家だけでなく、すべての人が行動することが必要です。この為に、新しい発想で、地震対策そして、安全で快適な街づくりを考え直そうと、SRF 賞は、東日本大震災の翌年に創始されました。今回で4回目を迎え、学生部門、一般部門にそれぞれ多数の応募をいただきました。

下記の要領で、受賞作品の発表とシンポジウム、パネルディスカッション (PD) を開催します。

日 時 平成 28 年 3 月 12 日 (土) 13 : 00~17 : 30

場 所 構造品質保証研究所 (SQA) よりライブ配信 (Ustream)、同時通訳 (英語)

SQA のホームページからお入りいただくか、下記のアドレスでご視聴ください :

日本語版 : <http://www.ustream.tv/channel/As3spwSap3g>

英語版 : <http://www.ustream.tv/channel/yC6zVgVLApu>

プログラム

- 13 : 00-13 : 40 開会挨拶・基調講演 五十嵐 俊一
大地震には新しい構造と材料で、SRF 工法を新築にも使う
- 13 : 40-14 : 20 記念講演 伯野 元彦 (元東京大学地震研究所長)
東京オリンピックの前に首都直下地震が起こったら
- 14 : 20-14 : 50 記念講演 壁谷澤 寿海 (東京大学教授)
大地震後に建築物の継続使用を可能にする技術
- 14 : 50-15 : 00 休憩
- 15 : 00-15 : 20 SRF 賞選考結果発表、講評
- 15 : 20-16 : 20 受賞者発表、質疑 大賞 1 作品、優秀賞 2 作品
- 16 : 20-16 : 30 休憩
- 16 : 30-17 : 30 パネルディスカッション (PD)
安全で快適な街造りに向けて、今 すべきこと